

関西大学嵐山インフォメーションデスク (KAID)

インバウンド
語学サポート
インフォメーションデスク



「鮎の塩焼き販売」保津川漁業協同組合の皆さんへ語学サポート

DATA

- **主な連携先・メンバー**
嵐山商店街会長・嵐山保勝会副会長 石川 恵介氏
保津川漁業協同組合長 磯部 和雄氏
YADO Arashiyama 内 レストラン MUKU 料理長
加 龍太氏
- **活動地域**
京都府京都市の京福電鉄嵐山駅前 嵐山商店街の嵐山保勝会事務所前
竹林の散策路、桂川河川敷、渡月橋付近、レストラン MUKU
- **活動期間**
2023年～継続中
- **活動資金**
地域連携活動に対する補助事業／嵐山商店街から補助（備品等の購入）／保津川漁業協同組合からの補助（一部交通費）

目的

嵐山地区で激増する訪日観光客のインフォメーションデスクで、学生が案内をすることで、何かお困りの観光客の役に立つと同時に、地域のPRや商店街の活性化に貢献すること。

活動内容

従来の京福電鉄嵐山駅前の嵐山保勝会事務所前に設置したデスクでの活動では、質問に英語で答えて観光客が困っていることを解決するだけでなく、学生自らが作成したイラストマップも配布している。10月に2日間にわたり開催された「嵐山秋花火」では、昨年同様、打ち上げ前や帰路の案内の日本語と英語のアナウンスを担当した。また保津川漁業協同組合からの依頼で、9月から11月にかけて毎週末の土日に行われた「鮎の塩焼き販売」のイベントにも、メンバーが語学スタッフとして、日本人スタッフと訪日観光客の間の橋渡しを行った。

連携に至る経緯

2022年春より、京都市内の商店街で機械翻訳機の利用と言語のトラブルの調査を実施。「言語に堪能な人の仲介」が、もっとも望ましいとの報告があった。留学直後の本学の外国語学部の学生であれば、その要望に応えることができると考え、デスクの開設に至った。

さらに今年から始まった10月の嵐山の竹林のライトアップでも、商店街からの依頼を受け、語学サポートや観光客の誘導スタッフとして約1か月間、活動した。通訳サービスとしては、嵐山ホテルの中のレストランで、週末、メンバーが通訳者として、調理担当者と客との間で料理の説明の通訳を行った。11月からはデスクでの活動に加えて、メンバーが渡月橋付近で、英語で混雑緩和のための迂回路の案内も行っている。



「嵐山秋花火」で日英のアナウンスを担当



「嵐山商店街会長の店頭」外国語学部生が作った商店街イラストマップを設置



メンバーが作成した英語のチョークボード

活動の成果

- ≫ 観光客への貢献：困っている観光客に情報提供をして役に立つことができた。
- ≫ 学生の学び：言語面のみならず、実地の体験から学びを得ることができた。
- ≫ 地域社会への貢献：地域のイベントに案内役やアナウンス担当として参加し協力することができた。

今後の課題・目標・展開の可能性

- ≫ 学部内での活動の認知度をさらに高め、参加を希望する学生数を増やすこと。
- ≫ デスク設営の頻度を高め、地域での認知度をさらに高めること。
- ≫ 訪日観光客のために、通訳者を探している商店やレストランや公共施設と提携すること。

連携先からの一言

嵐山の目抜き通りでたくさんの訪日観光客に名所等への行先案内やフレッシュな笑顔のおもてなしが大好評です。

(嵐山商店街会長・嵐山保勝会副会長 石川 恵介氏)

鮎の塩焼きを提供する事になりましたが、言葉の壁があり、学生の方々に嵐山まできていただき非常に助かりました。

(保津川漁業協同組合長 磯部 和雄氏)

外国語学部 教授 高橋 絹子 Takahashi Kinuko



専門は応用言語学（通訳研究）。大学教員になる前は通訳者として稼働。趣味はコロナ禍で始めたヴァイオリンの演奏と、美術館や古寺めぐり。

